令和 5年 8月1日 メルボルン交流抄

「平松礼二画伯」—続編

日本画の平松礼二先生の作品「日本の祈り」について、令和 4 年 1 月 7 日の交流抄でご紹介しましたが、今回はその続編です。「日本の祈り」を寄贈いただいた後、総領事公邸客間に展示して、およその推計で延べ 1,000 人以上のお客様方にご覧いただいております。この作品は東日本大震災の後、日本は頑張って、再び立ち上がっていくという願いを表現したものだそうです。この美しい作品は国籍、民族、年齢、性別にかかわらず、観る人を魅了しています。

オーストラリアでもっと多くの方々に見てもらいたいと思っていたところ、昨年半ばに南オーストラリア美術館から、この作品を貸して貰いたいとの話が持ち上がりました。願ってもない機会と手続きを始めました。今年3月に一時帰国した際に平松先生のアトリエを訪ねて、このことをお伝えすると、大変喜んでくださいました。

南オーストラリア美術館の特別展"Misty Mountain, Shining Moon: Japanese landscape envisioned"は、7月29日から11月12日まで(注 2024年7月28日まで延長)となっています。

(https://www.agsa.sa.gov.au/whats-on/exhibitions/misty-mountain-shining-moon-

japanese-landscape-envisioned/)初日の特別ツアーに招かれて早速行ってきました。平松 先生の「日本の祈り」は広がりのある空間の中で輝いて見えました。江戸時代の葛飾北斎の 見事な赤富士(凱風快晴)をはじめ、時代ごとに特徴ある日本の風景を見比べることができる 素晴らしい企画です。是非お見逃しなく。

最後に、南オーストラリア美術館の関係者の皆様に御礼を申し上げるとともに、平松先生からのメッセージを掲載させていただきます。

「此度私の作品が南オーストラリア美術館に展示されます事、甚だ光栄に存じます。

日本人の一人の絵描きの感覚・表現がご覧いただきます皆様に伝わりましたら望外の悦びです。

来年 9 月からはフランス・ジヴェルニーの印象派美術館におきまして私の個展が開催されますが、日本画の表現が世界の方々の眼に多く触れる事を願うばかりです。 本展のご成功を心よりお祈り申し上げます。

平松 礼二

## 令和5年7月29日」







